



## 祝 敬老の日

9月19日(月・祝)、上海府地区では、百寿1名と米寿15名を含む366名の皆さんが敬老の日を迎えられました。上海府地区敬老会の式典は、コロナ禍で3年連続の中止となりましたが、地区区長会と町づくり推進委員会から敬老者の皆さんへお弁当や紅白饅頭をお渡しし、百寿や米寿を迎えられた方々には、地区区長会からお祝いが贈られました。



協力員によるお弁当の仕分け作業(吉浦集落)

米寿を迎えられた石井邦子さん(吉浦)は、ご家族と旅館へ行き、米寿のお祝いをしてもらったそうです。吉浦で生まれた石井さんは、幼い頃はテングサ採りをし、一時的に横浜へ住み、吉浦へ戻ってからは長く大沼医院で働き、子育てに奮闘していたそうです。

現在は、編み物や刺し子などの趣味を楽しみ、好き嫌いせず何でも食べて、お茶の間へ参加することも楽しみのひとつにしていると充実した毎日を過ごされている様子がうかがえました。



また、百寿の小野祐政さん(柏尾)は、10月に100歳を迎えられました。お誕生日当日には、市からのお祝い状などを、市の担当者から贈呈され、真剣な面持ちでしっかりと受取りました。

小野さんは、お祝いしていた大勢の方へ「今後とも、よろしくお願ひいたします」と丁寧にご挨拶をされました。

敬老者の皆さん、感染症対策を講じながら、おしゃべりや旅行といった楽しみや生きがいを大切に、食事・運動・睡眠の生活リズムを整え、いつまでも健やかに過ごしてください。



### ● 小野さんの生まれた大正11年はこんな事がありました ●

- 5月 瀬戸内寂聴 誕生
- 6月 加藤友三郎内閣成立
- 7月 森鷗外 死去
- 8月 大河津分水通水
- 11月 アインシュタイン博士来日、オスマン帝国の滅亡



## 第8回かみかいふ写真コンテストへ投票をお願いします!

43点もの応募をいただいた「第8回かみかいふ写真コンテスト」例年、地区文化祭で来場者による投票により入賞作品を決めていましたが、今年度は地区文化祭が中止となったため、現在、上海府地域コミュニティセンターを会場に展示と投票を行っています。

皆さん、素敵な「上海府」に会いに、是非とも足をお運びください!



**期間** 10月21日(金)まで毎日 ※土曜、日曜、祝日を含む

**時間** 午前9時~午後4時

**会場** 上海府地域コミュニティセンター 2F 和室

- その他**
- ・投票用紙は、ご来場の際におひとりにつき1枚をお渡しします。
  - ・期間中は、土日祝日も投票できます。その場合は、非常階段脇の裏口から入り、代行員へお声がけください。



# 砂丘短歌会 く今月の一首く

上海府かわら版では、上海府地区の短歌教室

『砂丘短歌会』の皆さんの作品を紹介しています。

短歌教室の皆さんの力作をご覧ください。

灼熱の下で作りし五キロ余の西瓜届けに笑顔の彼女ひとは

(太田美也子)

野辺に咲くオレンジ色の花の名をキツネノカミソリとはじめて知りぬ

(小野静江)

初盆の友のお墓に線香あげ語りかけたりありし日のこと

(鈴木昭作)

自家野菜足を引きずり作りいるうまさ抜群まもなく米寿

(佐藤良子)

夏空に白く湧き立つ雲の峰球児らの声も高く響きて

(井上スミ)

初めての四百ミリの水害に故郷断水盆の過ぎても

(加藤五三子)



新型コロナウイルスの影響により、掲載の事業が急遽変更となる場合があります。不明な場合は、主催者へお問い合わせください。

## ～地区合同運動会について～

8月15日発行のかわら版で中間報告していたアンケート結果について、最終結果をお知らせします。

自由記入欄へ記載のあったご意見ご提案を参考に、町づくり推進委員会で協議を進めていきますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

**ふれあい大運動会inかみかいふ(地区合同運動会)を今後どのようにしたら良いと考えますか？**

【結果】 続ける：7名

どちらかという、続ける：17名

どちらかという、やめる：72名

やめる：265名

どちらでもよい：56名



## 今後の予定

### 10月の予定

15日 移動図書館巡回日

17日 うどん作り  
(瀬波小3年生)

30日 移動図書館巡回日

### 11月の予定

8日 むらかみ互近所ささえ愛の日

12日 移動図書館巡回日

15日 村上市議会市民厚生

常任委員会との懇談会

## むらかみ互近所ささえ～る隊コーナー

たわわに実った稲も刈り取られ、秋の深まりを感じる頃となりました。

梅雨が早く明け、連日30度超えの暑い日が続き、稲の穂が出た後は梅雨に戻ったかのように雨の日が多く、高温多湿傾向でした。そんな条件でも、稲は実り、いつも通りの美味しい米となりました。本当に自然の力はすばらしいです。

しかし一方で、8月3日からの大雨が甚大な被害をもたらした、自然の猛威を知ることもなりました。上海府の皆さんの中には、被災された親戚や友人・知人のお宅へ手伝いに行かれた方もおられたことでしょう。村上市災害ボランティアセンターには、市内はもとより県内外から4,000人を超える方がボランティアとしてお越しく下さいました。

被害のあった地域では、幸いにも人的被害はなく、日ごろの訓練、つきあい、声かけの成果だと報じられていました。「どうしようかと迷ったけど近所で一緒に避難所行ったよ」「車を高い所に避難させた。近所の人に声かけてもらって良かった」「夜中だったこともあり、誰も声をかけてくれなかった。車が水没した」等々。皆さんの集落ではどうでしょう？自分だったら一番に何をしますか？誰に声をかけますか？声をかけてくれる人はいますか？今こそ、「自分事」として考えていただけたらと思います。

村上市社会福祉協議会 地域福祉課 (☎62-7757)

【むらかみ互近所ささえ～る隊 佐藤小百合】